

小川お台場の海岸草原

伊藤 邦男

小川お台場。相川町の小川は海辺の海岸段丘の水田地帯を徒歩5分で段丘のふちに達するが、この海岸から揚島（あげしま）、姫津、尖閣湾などが遠望される海岸景勝地で佐渡弥彦米山国定公園指定区域である。

海岸草原は海沿いに500m、奥行き200mの平坦な海岸草原で、地元では「お台場（おだいば）」とよばれる。幕末、黒船来航が発端となり、幕府は海岸に砲台を設置したがこれが「御台場」である。佐渡に設置された63ヶ所のお台場の一つが、この小川のお台場である。佐渡の外周はおよそ230km、そのほとんどが、岩石・岩礁海岸で、そのうち海岸草原はこのお台場草原と春日崎草原（相川町）の二ヶ所のみである。岩礁海岸植物や沿海地植物を探訪するのによい海岸草原である。

海岸林のカシワ、クロマツ、エノキなどは草原のふちにわずかに残るのみであるが、これらの樹林は冬の季節風帯に成立する代表的な風衝樹林である。ハマナス、マルバシャリンバイなど海岸低木林、ハマイブキボウフウ、トビシマカンゾウ、カセンソウ、ツリガネニンジン、カワラナデシコ、エゾミソハギ、キリンソウなどは海辺の美花。ハルノノゲシ、コウゾリナ、アキノノゲシなどの内陸植物や、ヒメヒオウギズイセン、セイヨウミヤコグサ、ムラサキツメクサなどの帰化植物も侵入生育している。

この一帯に長期滞在型リゾートの建設が予定されているが、この草原の自然保全を進めながら、多くの人々に愛される自然景観や自然の花園を保全していきたい。 1999. 1. 2

植生調査表

小川お台場の海岸草原

調査地：佐渡郡相川町小川お台場 海拔25m 図幅（5万分の1）相川（下左）

地 形：平地、風当：強、日当：陽、土湿：乾

II. 亜高木層

優占種：カシワ、高さ：4m、植被率：5%、胸径：8cm、種数：4

海岸林 カシワ1・2 クロマツ1・1 エノキ+ エゾイタヤ+

III. 低木層

優占種：ハマナス、高さ：1m、植被率：5%、胸径：4cm、種数：2

海岸植物 ハマナス1・2 マルバシャリンバイ1・1

IV. 草本層

優占種：ハマイブキボウフウ、高さ：1m以下、植被率：90%、種数：37

海岸植物 ハマイブキボウフウ2・2 トビシマカンゾウ1・1

カセンソウ+ ハマボッサ+

沿海植物 シラゲシャジン1・1 アオツツラフジ+ アキカラマツ1・2

ハマオトコヨモギ+

内陸植物 セリ+ ノアザミ+ ハルノノゲシ+ コウゾリナ+2

アキノノゲシ+ ツリガネニンジン+ カワラナデシコ+

ヒメヤブラン+ ノハナショウブ+ エゾミソハギ+

ヒルガオ+ ツユクサ+ オオバコ+ シバ2・2

チガヤ2・2 クサイ+ イヌビエ+ キリンソウ+

帰化植物 ヒメジョオン+ ヒメヒオウギズイセン+2 シロツメクサ+2

セイヨウミヤコグサ+2 エゾノギシギシ+ ヘラオオバコ+

ネズミムギ+ カモガヤ+ ムラサキツメクサ+2

アサツキ+





海岸草原



ハマブキボウフウ



ヒメヒオウギズイセン



海岸草原(全景)

相川町小川お台場海岸草原

追記

冬季のきびしい季節風のもとで成立する草原の一例と見られる。佐渡でも少ない群落の形態で、貴重な存在である。しかし、1999年3月にはこの草原に近接して建造物が建てられている。草原への影響が少ないよう配慮して頂きたいものである。